

# 意見交換会実施報告書

【3班】

開催団体	川内駅東口アクセス道路建設の計画変更を要望する会	参加人員	11人			
開催日時	令和元年5月13日(月) 13:30~15:30					
開催場所	中ノ原公民館及び現地					
出席議員 (担当)	議員名	出欠	担当	議員名	出欠	担当
	石野田 浩	○	司会・進行	上野 一誠	○	
	大田黒 博	○		宮里 兼実	○	
	持原 秀行	○		下園 政喜	○	
	帯田 裕達	○		松澤 力	○	記録・報告書作成

## 意見交換の内容 (凡例 ◆団体の意見 ◇議員の意見)

テーマ 川内駅東口アクセス道路建設の計画変更を求める要望や意見等

### 《意見交換の概要》

まず、各議員が自己紹介を兼ねて挨拶を行い、その後「川内駅東口アクセス道路建設の計画変更を要望する会」から、現在の川内駅東口アクセス道路建設の計画について変更を求める意見等が出された。その後、現地を確認し、意見交換会を終了した。

### 【団体から出された意見・要望等】

- ◆ 道路の現状は、通学路になっており、通学生を含めていわゆる交通弱者というのが多い道路である。川内商工高校の前の道路があるが、これが1案と言われるもので、3案というのが本件の道路となっており、この両方が非常に通学生の多い道路となっている。

非常に交通量が多く、昼夜を問わず、騒音や振動が多い。さらに夕方は、マルナカさんの利用者が多い。道路が広くなると通行車両の速度が上がり、かえて我々にとっても、交通弱者にとっても、非常に危険度が高まるのではないかと危惧している。また、ここはもともと地盤が弱く、よくアスファルトが波打ってしまうため、舗装工事も行われるが、10mm程度の段差であっても、夜中に大型車両が通れば、ドーンという音がしたりする。こういった現状ではあるが、特に不自由さは感じてない。

我々は反対とは言っているが、反対というよりは、むしろ、2案のほうで道路を作ってもらうように要望したいと考えている。平成29年度の資料では、案は緑と青で示されているが、実はこの間くらいに道路を通せば、非常に利便性が良くなるのではないかと考えている。この2案を支持する理由として、コンベンションホールだけではなく、川内駅へのアクセスも非常に良くなり、1案と3案の道路の交通量は間違いなく激減し、交通弱者に対する安全性も向上すると考える。

そして、特にここを通すことによる一番のメリットが、おそらくここにある竹林が、宅地に変わってくると。宅地に変わると、今度は町の繁栄にも繋がるのではないかと。この道路は、約10年の工期がかかると言われているが、ほぼ半分を山林が占めているので、工事もし易いし、工事中の騒音、ほこり、そういった害のかかる対象者が少ないと思う。そして、用地収用がしやすい。そういった要件も含めて我々はこっちを決めた。

それから、こちらに道路を作った場合、福崎自動車学校のところに橋があるが、架設橋を作り、架設道路を作り、それからもう一回それを壊して本橋を作るという、二つの橋を作らなければならないが、こっちの工事では、架設橋の工事が必要なくなる。それと、急な事故が発生したときも、この道路があれば、う回路、それから避難ということを考えてときも、避難の方法として、三つの道路があった方が有効である。

だから、是非、もう一度こちらの方に考え直してもらいたいと考えている。実際、マルナカさん、福崎自動車学校さん、アパート経営の〇〇さんとかは駐車場がもろに取られる。そうすると入居も悪くなるだろうし、福崎自動車学校さんも高齢者講習が盛んにやられているが、そのための駐車スペースがなくなるといったことが生じる。その辺も勘案していただいて、まだ測量が終わったばかりで、工事に着手していないので、何とか再検討していただきたい。

- ◆ 今年1月に、趣意書「この度の川内駅東口アクセス道路建設に伴う現横馬場線の拡幅工事に反対致します、他の案への変更を要望致します。よって、私たちは立ち退き要請があっても絶対に応じません」ということで、11名とその他店の関係で賛成しない、印鑑を押せないということで、合わせて15名くらいいらっしまった。こういうことをもとにスタートした。

その趣意書として考えたのが、川内駅東口アクセス道路建設の計画変更を要望する事由として四つほど掲げた。この会は、平成通り線を伸ばしてもらいたいということであって、反対ということではなく、変更を要望する会である。（※四つの要望事由は省略）

先日、市役所から委託を受けた業者が印鑑を付けてくれと言ってきた。警察署に聞いたら、「本人が知らないのであれば、警察とか市役所職員を装って、印鑑をもらいに来る場合があるので、それはやめてください」とのことであった。事前にそういった情報を教えてもらえれば「あっ、来るんだな」ってなるが、いきなり来たから印鑑を押さなかった。そういう色々なことを熟慮して現在に至っており、結果的には平成通りを解決してもらいたいのが最終的な要望である。

- ◆ 三つの案があると聞いた。説明した方に「私の耳が悪いのか分かりませんが「この案に決定です」と言ってらっしゃるようにしか聞こえないのですが」と言ったら、「そんなことはありません」と言われた。でもやっぱり話が進んでいるのが、今の道路である。

他のところの方々にも説明があったのかも分からない。すごく不安である。土地と家がかかるが、母は一人住まいであり、近所の方も今日は平日の昼間で、出席できない方もたくさんいる。ここに来ている方が全てだと思われるとすごく困る。出席できない方の中には「駐車場がなくなる、仕事ができなくなる、子どもが来た時に自分たちも車を止める場所がなくなる」と言われる方がいる。助けてください。

- ◆ 自宅は交差点近くにあり、現在でも自宅の出入りが大変である。右の方にはほとんど行けず信号をいくつも待って、やっと出られる状態である。道路が広くなったり、歩道が広くなったりして、きれいになることはとても良いことだと思っている。しかし、その一方で個人の生活が脅かされ、不便になり、長年築き上げたものが一方的に線引きされ、なくなるのは納得できるものではない。「住民に寄り添って」なんて言われるが、どう寄り添っているのか。自宅が広ければ反対はしないが、自宅は前後左右どちらにもゆとりが全くない。完成後は、自宅から出るも入るもさらに大変な思いをすることになる。取られるのは駐車場である。2台分やっと確保して、家を建て21年。年を取った。主人も2年前に亡くして、私も一人暮らしである。

子どもたちがよく帰って来てくれるが、今まで2台やっと入っていた駐車場が、軽は一台しか入らない状態になる。狭かった庭もなくなり、いろいろな思い出のある木も全部取らなければならない。皆さんの自宅がもし、このような状態だったら、皆さんは喜んで「賛成」と言えるか。

近所の方も「道路が広がっていいね、歩道が広がって」と他人事である。私は喜んで賛成できない。土地がいっぱいあれば、喜んでどうぞ、どうぞと言う。それくらいの気持ちは持っている。私は川内の町が好きで、転勤族から離れたときに、主人は〇〇〇なんですけど、川内に家を求め、とても気に入っている。今の暮らしを大切にしたい。どのように取られるのか、とても不安で何の話し合いもないまま、誰に何を相談することもないまま、一方的に話は進んでいる。どのくらい取られるのか不安で、測量は2回拒否したが、周りの測量が進み、不安になった。もう少し誠意のある対策を望む。我々の意見を届けていただきたい。

- ◆ 今までの経緯について説明する。平成29年12月19日、第1回目の説明会があり、案が三つあるという説明会であった。次に、平成30年8月に、具体的にもうこの案で決まりというような説明会であった。そして、夕方の説明会には、勤め人の方々が来られたが、相当揉めた。最終的には、役所の方にも議事録を出すように要望していたが、未だに議事録は受けていない。後にあたかも穏便に話が進んだかのように議会に報告をされたと聞き驚いている。

今、配ったのは自治六法からの引用であるが、最初の2番に「国及び地方公共団体は、広報活動を通じて、土地について基本的な理念に関する国民の理解を深めるよう適切な処置を講じなければならない」とあるが、我々からすると、その説明責任が果たされていないのではないかと感じる。それから、下の方に「土地に関する基本的施策」ということで、「第1項の場合において、国及び地方公共団体は、住民その他の関係者の意見を反映させるものとする」とあるが、正直、一つも我々の意見を聞く耳すら持っていないというのが現状である。

それで、今回は意見交換会をするに当たって、コミュニティ協議会の会長にも出席を要請したが、その会長ですら拒否された。だから、我々の思いを一体どこにどう吐き出せばいいのかということでここまで来た。行政側も一番大切なことを忘れていないのではないかと感じ、思い切ってこうやって動いた。そういった思いをしっかりと汲んでいただき、再検討してもらうようよろしくお願いしたい。

- ◆ 市役所の方が来た時に、「老人が見ても分かるようにもっと大きく書いて来て下さい。図面にしろ、分からないじゃないですか。眼鏡をかけても見えないくらいの小さいものを持って来てもらっても困る」と再三言うが、ただの1度も大きな図面とかそういうのがない。我々高齢者にも分かるような書類を持ってきていただきたいと役所の方に伝えていただきたい。
- ◆ 平佐簡易局は、平成29年3月に開局致した。まだ2年2か月しか経っていない。簡易郵便局であるので、全て個人で土地、建物準備した。ただ、簡易と言っても郵便局であるので、細かいことまで指示があり、開局までとても時間がかかる。平佐、天辰地区は駅の近くということもあり、人口は多いのに郵便局が近くにない。以前の郵便局が閉まって、住民の方が困っているという思いから開局致した。また一からとなると、労力、時間、資金、全てにおいて不安しかない。郵便局はどこでもできるというのではなく、道路の幅とか人口とか、かなりの規制の中であそこにやっと選んで作った。

それから、この案になると、建築基準法で隣地境界線の距離が1m以上と定められているが、これに抵触する恐れのある場所が3箇所ある。つまり、隣同士の家との距離、道路からの距離を取らないといけないし、それが取れなくなる状況にあるところが3箇所ある。その辺も現場で確認していただきたい。

- ◆ 中ノ原にやっかいになってから40年余りになるが、私の土地を譲ってくださった、畑を譲ってくださった〇〇さんという方が書いたパンフレットがある。「中ノ原の歩み」というもので、最初発言されたBさんが自治会長のとき、平成17年です。それっきりになっていたが、今度の件が持ち上がったので読んでみると、いろいろ歴史を書いてある。昔は田んぼのあぜ道で、荷車がかろうじて通るところで、大雨が降ると大変だったとかいろいろ書いてあり、住民の厚意で「無償でここの土地を渡すから、市の方で予算を組んで道路を整備してくれ」とお願いをされ、戦後、天大橋ができるようになって、外からのいわゆるアクセスが、道路ができるようになった。親の代から道路を整備して、住み良い町にどうにかなったわけである。

もう決定だということで、強行しようとしているのではないかとされており、Aさんが言われたようにアクセスのために立ち退き、「そこ退け、そこ退け」である。聞いてみれば一番安い案だと。やっぱり経済的なことが先行していると思った。実は、もう20年以上前議員をしていたとき、駅の平成通りを作るとかで、区画整理事業をあちこちやられて、ここもやろうということになったわけである。新聞にも反対派とレッテルを張られ、「市長にも絶対住民の意見を尊重せよ」と私も議会でお願ひし、いろいろと曲折があった。平佐西小学校の隣接のところも、やっぱり区画整理事業のときにすったもんだした場面もあったが、とにかく住民の意見を尊重すると、話し合いに乗るということを約束し、その後のマンションなんかの建て直しなんかがあって、ああいう街並みになった。

我々も、「こういうふうになったら、どういうふうになるだろうか」また「どういうふうによくしてほしい」ということでは一致しているので、そこをよく勘案してやっていただきたい。聞くところによると、これは国の補助事業だということで、経済的な側面も大きいわけで、費用対効果はどうなっているかなど、議会の方で調べていただき、我々の意見を十分汲み取っていただきたい。

- ◆ 私は直接の地権者ではないが、中ノ原の住民として、2回の説明会も聞きに行った。ただ説明会に行くと、先ほどからあるように、第3案が決定だと感じ取れるような市の説明である。それと、国の補助をもらうから、国の規格だと。そういう話であるが、逆を返せば、補助金ありきという形で、やはり地域の意見が反映されていないという気がする。というのも、国の規格でしないと補助を出ないと。そういう話であるが、国道でもないし、こういう住宅街を走る道路において、両サイドに3.5mの道路が果たして必要なのかと感じる。必要最低限度の道路として計画を見直してほしい。というのも、九州新幹線が一部開通し、3号線側の歩道も広がっているが、当時、国の機関に勤める方と会う機会があって、「こんな広い道路を作って歩道を歩いている人は誰もいないじゃないですか。税金の無駄遣いですよね」という話をされたことを思い出し、今回の計画も、いくら国の補助金をもらうからといって、我々の税金を使うわけであるから、もう少し有意義な計画に見直してほしい。

もう一つは、2案の方に、という意見であるが、確かに交通量が増えるということで、一つの道路だけを優先して拡張しようということだけでなく、分散化する必要があると思う。2案では文化財云々という話もある。そうであれば、逆に県道が平佐西小まで商工下から入って、平佐

城温泉まで来ているから、平成通りを出てぶつかったファミリーマートから平佐城温泉の道路も改修が必要ではないかと思う。そういうところももう少し、補助金頼りで国の規格というよりは、地域の交通量をいかに分散化して、みんながせっかくある道路をうまく使うと、そういう、もっと地域に密着した考え方を市の職員には現地を見て検討していただきたい。

そこで、アクセス道路の改修ということになるが、今の横馬場の道路は、歩道部が一段高くなっており、歩いていて躓いたりすることが結構ある。だから、改修はこの2案ということでお願いはするが、改修に当たって、もし路線が変わった場合であっても、今の道路の歩道敷きを改修してもらって、そこらも併せて整備をしていただくと、そういうことを切にお願いしたい。

- ◆ 市長がいつもおっしゃっている市民の目線で、そういう私たちの目線で。市の職員は、上から目線で言う。昔からそうだと聞くが、20年30年前は課長になれば椅子に足を置いて仕事をしているとかよく耳にしたが、やっぱり直っていないのかなど。失礼ではあるがそんな気がする。
- ◇ いろんな御意見いただきありがとうございます。皆さんのお話を聞いていると、とにかく説明責任がなされていないというような意見が圧倒的だと思います。今日皆さんがおっしゃったことは、行政のほうには伝えておきます。